



建設産業界の職域代表として国政で活躍する足立敏之参院議員と語る会が3日、東京都港区の東京プリンスホテルで開かれた。集まった支援者ら約1500人を前に、防災の観点だけでなく日本の国際競争力を高めるためにもインフラ投資の必要性を強調。「経済で一流を目指すならインフラも一流でなくてはならない」と述べ、「建設産業の再生なくして日本の再生なし」「インフラの再生なくして日本の再生なし」のスローガンの下、政治活動にまい進する決意を改めて示した。写真。

足立議員と語る会

経済もインフラも一流に

組むと表明した上で、自然災害の被害や国際競争を念頭に「公共事業予算を減らし、インフラ整備をトーンダウンさせてきた結果、日本は決して良い方向に進んでいない」と指摘。特に高速道路ネットワークは自身が視察した諸外国と比べて遅れているとし、日本が世界に肩を並べるためのインフラ投資を訴えていく決意を語った。

国土強靱化実施中期計画の策定にも意欲を見せた上で「日本経済の再生にはインフラの再生が不可欠だ。これからも歩みを止めずに頑張りたい」と力を込めた。

建設業界を代表してあいさつした宮本洋一日本建設業連合会会長は「災害に強い国土づくりを進めるためにも国土強靱化実施中期計画の早期策定が強く望まれる。計画策定と必要予算の確保に向けて先頭に立ってほしい」と期待を寄せた。

来賓として林芳正内閣官房長官、松本剛明総務相らが駆け付けたほか、岸田文雄首相がメッセージを寄せた。